

日 時 平成21年2月23日(月) 午前10時 開 会

出席議員 (16人)

1番 工藤和子	2番 大久保朝泰
3番 大溝雅昭	4番 工藤俊広
5番 工藤禎子	6番 村上啓二
7番 北山一衛	8番 佐々木隆
9番 後藤秀憲	10番 山田鉦一
11番 鳴海泰三	12番 中田博文
13番 斎藤直文	14番 工藤賢治
15番 福土幸雄	16番 村上隆昭

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長 鳴海広道	副 市 長 玉田 芙佐男
総 務 部 長 村上豊継	企画財政部長 山田良一
民 生 部 長 三浦裕寛	福 祉 部 長 齋藤繁人
農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 小田桐正樹	建 設 部 長 佐々木武市
会 計 管 理 者 木立正博	上下水道部長 角田祐一
黒石病院事務局長 兼 医 事 課 長 村元英美	総 務 課 長 兼 検 査 指 導 監 永田幸男
企 画 課 長 冲野俊一	財 政 課 長 成田耕作
健康長寿課長兼 地域包括支援センター所長 山口幸誠	農 林 課 長 兼 バイオ技術センター次長 工藤秀雄
監 査 委 員 廣瀬左喜男	教 育 委 員 会 委 員 長 篠村正雄
教 育 長 横山重三	教 育 部 長 鳴海勝文
選挙管理委員会 委 員 長 乗田兼雄	農 業 委 員 会 会 長 木村兼作

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成21年第1回黒石市議会臨時会議事日程 第1号

平成21年2月23日(月) 午前10時 開 議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 報告第1号 自動車事故に係る和解について

- 第 4 報告第 2 号 平成 20 年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第 3 号）について
- 第 5 議案第 1 号 黒石市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定について
- 第 6 議案第 2 号 平成 20 年度黒石市一般会計補正予算（第 8 号）
- 第 7 議案第 3 号 平成 20 年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 第 8 議案第 4 号 平成 20 年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第 4 号）

市長提案理由説明

第 9 議会運営委員会委員の補充選任

出席した事務局職員職氏名

事務局 長	奥野 正行
次 長	長谷川 直伸
主幹兼議事係長	太田 誠
議事係主査	山谷 成人

会議の顛末

午前 10 時 01 分 開 会

議長（斎藤直文） ただいまから、平成 21 年第 1 回黒石市議会臨時会を開会いたします。  
直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、議事日程第 1 号をもって進めます。

---

議長（斎藤直文） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 80 条の規定により、議長において 2 番大久保朝泰議員、1  
5 番福土幸雄議員を指名いたします。

---

議長（斎藤直文） 日程第 2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日 1 日と決定いたしました。

---

議長（斎藤直文） この際、諸般の報告をいたします。

まず、2月19日に大溝雅昭議員から、議会運営委員会委員の辞任願が提出され、委員会条例第13条の規定により、2月19日をもってこれを許可しましたので、御報告いたします。

次に、議長、事務局長において、平成20年度青森県市議会議長会第3回定期総会に出席しましたので、別紙のとおり御報告いたします。

次に、議員派遣の件について、別紙議員派遣承認報告書のとおり、閉会中、議長において議員派遣を承認しましたので、御報告いたします。

---

議長（斎藤直文） 日程第3 報告第1号から、日程第8 議案第4号まで、合わせて6件を一括上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

#### 登壇

市長（鳴海広道） 今回の臨時会に提案いたしました議案の概要について、御説明申し上げます。

案件は、国の第二次補正予算成立に基づく緊急経済対策としての「平成20年度一般会計補正予算」並びに「黒石市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定について」、「専決処分事項の報告及び承認について」など、合わせて6件であります。

最初に、報告第1号は、「専決処分事項の報告について」であります。平成20年11月22日に発生した自動車事故に係る和解について、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

次の報告第2号は、「専決処分事項の報告及び承認について」であります。

頭部を切開せずに脳血管障害や脳腫瘍を治療する、いわゆるガンマナイフ治療を行うための治療棟建設に向けた、設計料700万円の計上に伴い、「平成20年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第3号）」を、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

次に、議案第1号は、「黒石市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定について」であります。

介護従事者の処遇改善を図るため、平成21年度に介護報酬が改定されることから、介護保険料の急激な上昇を抑制する目的等で交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金を積み立てる基金条例を制定しようとするものであります。

議案第2号は、「平成20年度黒石市一般会計補正予算（第8号）」であります。歳入歳出それぞれ9億7,344万1,000円を追加し、予算の総額を154億8,730万5,000円にしようとするものでございます。

今回の補正は、景気後退下での生活者の不安に対処するため、家計への緊急支援として実施する定額給付金の給付、多子世帯の子育ての負担に配慮し緊急措置として実施する子育て応援特別手当の支給、さらには地域活性化に向け生活対策に対応した事業を実施するためのものがあります。

まず、歳出の主なものは、第2款 総務費で、定額給付金給付事業費6億842万1,000円、第3款 民生費で、子育て応援特別手当支給事業費2,488万9,000円、第4款 衛生費では、病院事業会計への補助金8,200万円、第6款 農林水産業費は、長谷沢地区農道整備事業費7,841万8,000円、第7款 商工費で津軽伝承工芸館屋根補修・補強工事費450万8,000円、第8款 土木費では、緑町21号線道路整備事業費3,800万円、運動公園改修工事費2,200万円、第10款 教育費では、学校施設耐震診断事業委託料5,785万5,000円、スポカルイン黒石屋根改修工事費等2,508万円を追加補正するものであります。

一方、歳入の主なものは、第13款 国庫支出金で、定額給付金給付事業費補助金5億8,574万4,000円、地域活性化・生活対策臨時交付金2億8,270万4,000円、第14款 県支出金では、農林水産業費補助金等5,742万7,000円を追加補正するものでございます。

次に議案第3号は、「平成20年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第3号)」ですが、介護従事者処遇改善臨時特例交付金の交付に伴う補正であります。

歳入をそのまま基金として積み立てるもので、歳入第4款 国庫支出金、歳出第6款 基金積立金にそれぞれ2,097万2,000円を追加補正するものでございます。

議案第4号は、「平成20年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第4号)」ですが、これも、国の第二次補正予算成立に伴う資本的収入及び支出の追加補正が主なものでございます。

まず、収益的収入について、3万8,000円を減額しようとするものでありますが、内訳としましては、他会計負担金を一部4条予算に組み替えるため17万円を減額する一方、医業外収益に材料費分としての県新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備費補助金13万2,000円を計上いたしました。

資本的収入及び支出については、収入・支出それぞれ8,433万円を追加し、予算の総額を3億3,791万1,000円にしようとするものでございます。収入の内訳は、地域活性化・生活対策臨時交付金を含む他会計負担金と県新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備費補助金で、支出については、老朽化した医療機器を更新するための購入費用等であります。

以上、議案の内容を簡単に申し上げましたが、御審議の際、詳しく御説明いたしますので、

原案どおり御承認並びに御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

降 壇

---

議長（斎藤直文） 日程第3 報告第1号 処分第21号 自動車事故に係る和解についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

以上で、報告第1号 自動車事故に係る和解についてを終わります。

---

議長（斎藤直文） 日程第4 報告第2号 処分第1号 平成20年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、報告第2号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

---

議長（斎藤直文） 日程第5 議案第1号 黒石市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定  
についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

5番（工藤禎子） この国の基金制度をつくるってということなんですけれど、介護現場の劣悪な労働条件あるいは人材不足の改善のために、介護報酬を3%引き上げということにしたわけです。しかし、現在の介護保険はですね、利用がふえたり労働条件を改善するとすれば、保険料や利用料にはね返ってくるというふうな仕組みになっていることから、保険料の値上げを抑えるための処置なわけなんですけれど、黒石ではじゃあ、第5条の関係で、どんなときに運用を考えているのか、お知らせ願いたいと思います。

議長（斎藤直文） 福祉部長。

福祉部長（齋藤繁人） ただいまの基金のことで御説明いたします。

まず、介護従事者の処遇改善のために行われる介護報酬3%の引き上げに伴い、平成21年度、22年度の介護保険料の上昇を抑えるために、国で必要な経費を交付します。それを今、積み立てるものでございますが、内訳として、上昇分、平成21年度に上がる部分1,267万7,451円を21年度に投入します。それで、22年度はその半額642万6,785円を22年度に保険料の上昇分として繰り入れする予定でございます。以上です。

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

議長(斎藤直文) 日程第6 議案第2号 平成20年度黒石市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

5番(工藤禎子) 17ページですね、12目定額給付金給付事業費なんですけれども。一つは、世帯主の通帳に入れるということをお聞きしたんですけれども、例えば、家族の中で、もらうもらわない人があった場合には、どういう処理になるのか。あるいは、世帯主がもらわないといった場合に、世帯主の通帳に云々であるので、その手続というのはどういうふうになるのか。

あと、もらえない待遇の人ですね、一応、全市民が対象になっているわけなんですけれども、もらえない状況にある人っていうのは、例えばどういう人が考えられるのか。そして、それはどんな努力をして給付するようにするのか。

それから、あとプレミア的に商店街、これは経済効果との関係もあるので、商店街とかですね、商工会議所等が考えていることがあったらお知らせ願いたいと思います。

議長(斎藤直文) 企画財政部長。

企画財政部長(山田良一) 一応、口座振込はあくまでも世帯主の口座にやる予定でございます。それで、個々に用紙っていいですか、私はもらいませんよと、一応申請書の方にバツをつけてもらいます。仮に世帯主の方がもらわなくても世帯の方が欲しいのであれば、そっちは出すということにさせていただきます。

それから、どういう方に行かないかということでありましてけれども、今のところ、その辺は

どういう方っていうことは想定しておりません。あくまでも2月1日現在で住民登録がされている方だと思っています。もし、工藤禎子議員がどういう方が想定しているのであれば、逆にお知らせください。お願いします。

議長（斎藤直文） 農林商工部長。

農林商工部長兼バイオ技術センター所長（小田桐正樹） プレミアム商品券のことについて、お答えいたします。

商工会議所の方では構想等を練っている現状ではありますが、現段階では白紙の状況であります。以上です。

議長（斎藤直文） 5番。

5番（工藤禎子） 例えば、その住所が確認できないとか。あるいは、住んでいるところから、例えば東京に出稼ぎに行ってもね、住所持っていってれば東京でもらうことになるので、それらの対策というか、そういうことで漏れる場合もありますよね、そういうことを言っているんです。あとは、ホームレス等は余りこちらの方は見ないんですけども、でも弘前には何人かいるということで、何かね、黒石の方で弘前にいらっしゃるというのちょっと聞いたこともあるので、そうすると、そういう人たちは住所が確定できなければどうなるのかとか。これは国会でのやりとりでもあるところですけども、その辺のことです。

それと、19ページの具体的にはないんですが、今、りんごの安値でね、非常にりんご農家大変なので、その安値対策っていうのがですね、農協とも連絡をとった形でどんな対策を考えているのか。あと、要するに、傷んできてるりんごあるわけですよ、で、それを県の方ではその堆肥化にはね、石灰窒素の云々っていうのもちらっと聞いたんですけども、市としては何かそういうのも考えているのか。あと、被害の関係で減免の申請をされましたが、申請と実際に適用になった人っていいですかね、そういうものの数をお知らせ願いたいと思います。

それから、歳出全般でちょっと監査委員の方からお聞きしたいんですけども。要するに、県の不正な経理の処理っていうのが問題になりました。で、中身を見ると、全くほかの自治体でも可能性がないわけではないようなやり方をやっているんですね。で、県の監査委員が摘発したような形になっているわけですけども、黒石では調べてみて大丈夫なのかも含めて、ちょっと状況をお知らせ願いたいと思います。

議長（斎藤直文） 監査委員。

監査委員（廣瀬左喜男） 今、工藤議員からお尋ねあった件ですけども、新聞紙上等で特に青森県ですよ、これ青森県に限らず全国何カ所があるわけですが、今回の一連の新聞報道等に関しましてはですね、一応、県を他山の石といたしまして、今、目下定期監査中でございます。その中で、特に物品購入のですね、伝票の動き。それから、各部課室の公印ですね、公の



印鑑の管理の仕方ということを全部課室に対してですね、今、重点的にその辺をですね、見ているところでございますので、今の段階で特に不適切な処理等はありませんので、あと1週間ほど定期監査ありますけれども、問題ないものと私は信じております。以上です。

議長（斎藤直文） 企画財政部長。

企画財政部長（山田良一） 住所不定とかホームレスの場合ですけれども、あくまでも基準日以降でも住所設定していただければ、柔軟に対応するということになっておりますので、御理解願いたいと思います。

議長（斎藤直文） 農林商工部長。

農林商工部長兼バイオ技術センター所長（小田桐正樹） りんごの被害に関してであります、御存じのとおり、市場価格が低迷している現状の対応には苦慮している段階ではあります。これについては、ジュースの消費拡大等を強く働きかけているところではあります、なかなか伸び悩みの状況でもあります。

また、今後の堆肥化に対する助成であります、一部自治体においては対応すると聞いておるところもありますが、県としては対応する予定はないとの答えであります。また、そのことについても、本市としても現状をもう少し確認しようという状況であります。

また、被害状況の申告についてであります、深刻な被害を受けた方の半数くらいには伸びておりますが、まだまだ行き及んでおりませんので、今月まで期間を延長してやっているところでありますので、その辺で御了承願いたいと思います。

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

議長（斎藤直文） 日程第7 議案第3号 平成20年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

議長（斎藤直文） 日程第8 議案第4号 平成20年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

議長(斎藤直文) 日程第9 議会運営委員会委員の補充選任を議題といたします。

本件は、大溝雅昭議員の議会運営委員会委員の辞任により、その後任について選任するものであります。

本件については、委員会条例第7条第1項の規定により、村上啓二議員を指名いたしたいと思いをします。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、村上啓二議員を議会運営委員会委員に選任することに決しました。

---

議長(斎藤直文) 以上で、今期臨時会に上程されました議案の審議は全部終了いたしました。

これにて平成21年第1回黒石市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時26分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成21年2月23日

黒石市議会議長 斎藤直文

黒石市議会議員 大久保朝泰

黒石市議会議員 福士幸雄